

わかりやすく、楽しく伝える県広報誌

美ら島沖縄

おきなわの彩



おきなわの彩

【名護市 フンガー滝】

特集 ▶ 「おきなわSDGs
プラットフォーム」に
参加しませんか？

企画 ▶ 進め！
うちなー調査隊

読者
プレゼント

抽選で10名様に！

詳細はP15をCHECK

4/4 表敬 駐日スリランカ民主社会主義共和国大使 ロドニー・ペレーラ氏

ロドニー・ペレーラ駐日スリランカ民主社会主義共和国大使が玉城知事を表敬訪問しました。

ペレーラ大使は、スリランカ国内での日本語教育や技能トレーニングについて触れ、「スリランカは人的資源がとても恵まれているので、若い労働者を海外に派遣し、そこで能力を発揮してもらいたいです」と述べました。

玉城知事は、沖縄と諸外国との交流の歴史に触れ、「沖縄は外国の方々にとって働きやすい地域の一つだと思います。スリランカの方々の雇用機会がこれから増えていくことを期待しています」と述べました。



駐日スリランカ民主社会主義共和国大使 ロドニー・ペレーラ氏

4/16 「島ぜんぶでお～きな祭 第15回 沖縄国際映画祭」が開催される

玉城知事は4月16日(日)、那覇市で開催された「島ぜんぶでお～きな祭 第15回沖縄国際映画祭」オープニングセレモニー(主催:沖縄国際映画祭実行委員会)に出席しました。



©沖縄国際映画祭

実行委員会の名誉会長を務める玉城知事は「映画祭を通して、沖縄の可能性が笑顔とともに世界中に広がることを期待します」と挨拶しました。続いて行われたレッドカーペットでは、今年8月に沖縄市で開催される「FIBAバスケットボールワールドカップ2023」公式マスコットのJIP(ジップ)や城岳小学校ミニバスケットボールチームらと一緒に国際通りを歩きました。

4/20 第7回「山の日」全国大会 おきなわ2023の実施計画を決定

令和5年8月11日の山の日を中心に開催する「第7回「山の日」全国大会おきなわ2023」に向けて同実行委員会第2回総会をオンラインで開催しました。

照屋副知事から「生物多様性に優れた亜熱帯の山の魅力や沖縄の歴史や文化を体感していただける大会を目指し、関係機関のご支援とご協力をお願いします」とあいさつした後、実施計画などが審議され、承認されました。

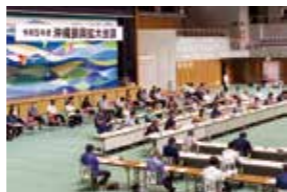


第2回総会で発言する照屋副知事

大会では、記念式典や歓迎フェスティバル、トレイルウォーク等を開催し、6月初旬からそれぞれ参加申込の受付を開始します。

4/28 令和5年度 沖縄振興拡大会議

令和5年度沖縄振興拡大会議を開催しました。県内市町村長及び議会議長並びに県幹部が、県立武道館アリーナにて一堂に会し、「物価高騰等に対する支援」及び「公立小中学校への学級担任の教員配置」をテーマに意見交換を行いました。



沖縄振興拡大会議の様子

玉城知事は、「物価高騰等に対する県民や事業者の負担軽減・持続可能な活動に向けた効果的・機動的な支援と、教育環境の更なる充実・課題解決に向けた効果的な対策が図れるよう、取り組んでいきたい」と述べ、市町村に対し県との連携について協力を呼びかけました。



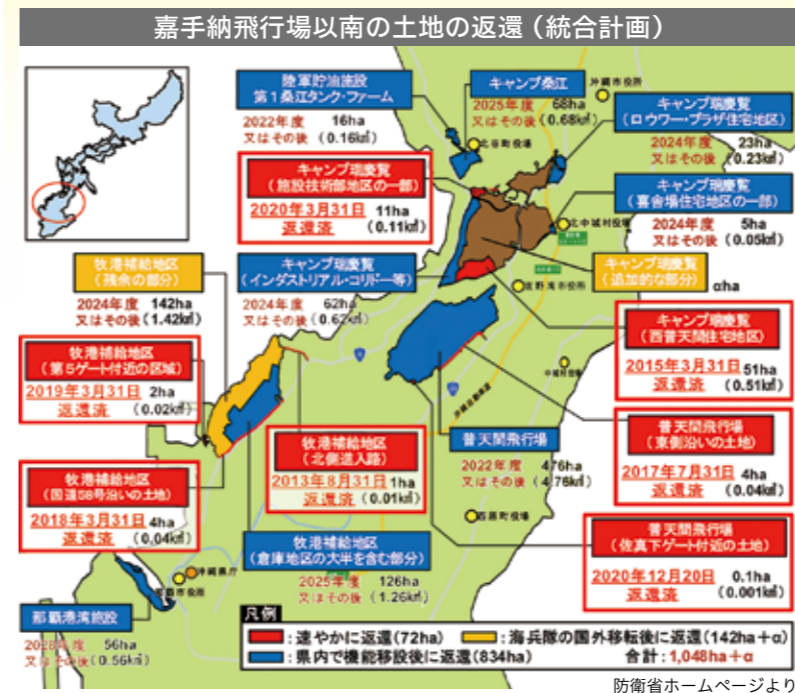
玉城知事あいさつ

新 沖縄21世紀ビジョン基本計画 / 実施計画



駐留軍用地における公共用地の先行取得について

県内の駐留軍用地は、1972年(昭和47年)の本土復帰時点から2020年(令和3年)3月時点までに、約1万ヘクタールが返還されました。既に返還された駐留軍用地のうち都市部では大規模な土地区画整理事業が実施され、大規模商業施設や高層集合住宅などが数多く建設されたほか、公園や学校、モノレール駅等の公共施設が整備される



防衛省ホームページより

など、新しい活気あるまちとして発展しています。嘉手納飛行場より南の米軍施設・区域については、日米両政府で返還が合意されており、返還後の有効利用により沖縄全体の今後のさらなる振興・発展につながっていくことが期待されています。

1 跡地利用を推進するためには?

駐留軍用地跡地における計画的な開発整備を進めるためには、返還後できるだけ速やかに道路、学校、公園・緑地等の整備を行うことが重要です。しかしながら、嘉手納飛行場より南の米軍施設・区域では、民有地が約87%を占めており、公共用地の確保が課題となっております。



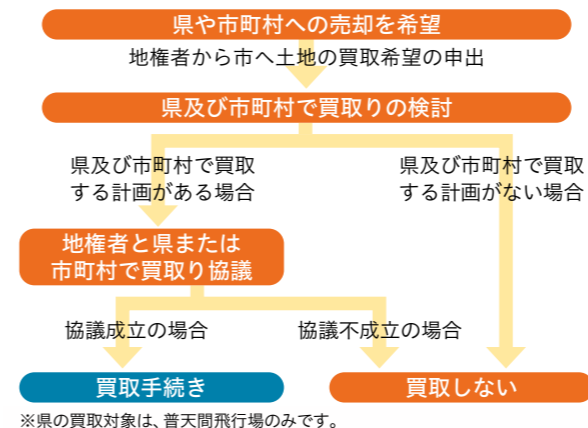
詳しくは沖縄21世紀ビジョンホームページをご覧ください

て、返還前から公共用地を先行取得する制度が創設されました。

2 先行取得へのご協力をお願いします。

県及び市町村は、対象となる軍用地(下段)について、公共用地の先行取得を行う事業の見通しを定め、必要な公共用地の取得のために先行取得を進めています。特に普天間飛行場については、今後大規模な公共用地が必要となります。土地の先行取得については、ご理解の上ご協力いただける方は、事前の申出が重要です。詳しくは、各市町村の窓口へご連絡ください。

県や市町村に土地売却する場合の「申出」手続きの流れ



※県の買取対象は、普天間飛行場のみです。

Table with 3 columns: 問い合わせ (Contact), (土地買取: 市町村担当) (Land Purchase: City/Town/Village in Charge), and 連絡先 (Contact Information). It lists contact details for various military bases like Camp Sasegawa and Camp Sabura.

6 2023 June 美ら島沖縄 [ちゅらしま おきなわ] vol.573

- 02 新・沖縄21世紀ビジョン基本計画/実施計画
03 県政フラッシュ
04 特集:「おきなわSDGsプラットフォーム」に参加しませんか?
06 進め!うちなー調査隊
08 いつも笑顔で「くわちーさびら」みんなで広げよう!食育の大きな輪
09 県の動き1 那覇空港自動車道一部通行規制のお知らせ
10 市町村ワードパズル [南風原町]
11 県の動き3 第7回「山の日」全国大会 おきなわ2023の開催
12 情報ひろば
14 県の動き4 女性のための『ている塾』 第5期生募集開始!
15 読者プレゼント・広報課から6月のお知らせ・読者の声

沖縄の人口・世帯の動き 2023年4月1日現在

146万2,871人 総人口 ※前月比5,933人減少
63万3,674世帯 世帯数 ※前月比521世帯減少

沖縄県庁広報課 公式LINE @okinawa-government

沖縄県庁広報課 公式ツイッター @okinawa_pref

今月の表紙

おきなわの彩 「名護市 フンガー滝」 撮影:はてるま こと

森の中を進むと現れる別名・普久川滝。やんばる地域の豊かな自然に抱かれた地域の人に愛される場所です。



本号の電子Book版とバックナンバーはホームページでご覧いただけます。

【美ら島沖縄の設置場所】 美ら島沖縄

県内コンビニ、モノレール各駅等で無料配布しています。また、公共機関や銀行、病院など多くの皆さまが利用する施設でもご覧いただけます。新規設置施設も受付致しておりますので、関心のある方は広報課までご連絡ください。なお、全世帯向けの戸別配布は致しかねます。ご了承ください。





沖縄らしいSDGsを目指して

「おきなわSDGsプラットフォーム」に参加しませんか？

SDGsの目標達成に向けては、行政の取組だけでなく、企業・団体や県民一人一人がそれぞれの立場から課題の解決に取り組むことが重要です。

県では令和3年9月に、県民をはじめ、企業、各種団体、市町村などのさまざまな関係者と連携しながらSDGsに取り組むための基本的な指針として「沖縄県SDGs実施指針」を策定し、

令和4年5月には、皆でSDGsに取り組む際の具体的な目標やアクション、指針などを「おきなわSDGsアクションプラン」としてまとめました。

また、多様な主体の参画、連携を促進するため、SDGsに取り組む県内の企業・団体を「おきなわSDGsパートナー」として登録する制度を令和元年度より運用するとともに、令和4年度にはこうした取組をさらに進めるため、「おきなわSDGsプラットフォーム」を創設しました。

「おきなわSDGsプラットフォームって何？」

「おきなわSDGsプラットフォームは、県内でSDGsに関連する活動に取り組んだり、関心を持つ企業、団体、自治体、個人が「情報共有」や「交流・連携」を図る場として令和4年9月に創設されました。令和5年4月時点で約1200の企業、団体、個人が会員として登録されています。

情報共有・相談などができます

「おきなわSDGsプラットフォーム」では、そのポータルサイトでSDGsに関する基本情報から県の取組、個人の会員の具体的な取組までさまざまな情報発信を行っており、会員登録を行わなくてもSDGsに関する情報収集を行うことができます。

先ず募集などをポータルサイト上で自ら行うことが可能になるほか、相談プラットフォームを通じてコーディネーターに無料で相談することができます。

プラットフォーム会員になるには

【第2部】事例発表プレゼンテーション参加者（発表順）

- 一般社団法人プロモーションうるま
- 琉球 guava entirely 株式会社
- 株式会社フードリボン
- 株式会社セブン-イレブン・沖縄
- JAMSTEC/GODAC (国際海洋環境情報センター)
- 国立大学法人琉球大学
- JAグループ沖縄
- 沖縄ツーリスト株式会社
- cafe and fruits BUNBUN
- 損害保険ジャパン株式会社 沖縄支店



パートナー登録証交付式

おきなわSDGsフォーラムを開催しました！

プラットフォーム事務局では会員向けのイベントも実施しており、令和5年2月には、沖縄県男女共同参画センター（ているる）で「おきなわSDGsフォーラム」を開催しました。

フォーラムは2部構成で、第1部では法政大学の川久保教授による基調講演に加え、県内でSDGsに取り組んでいる方々の連携促進や普及啓発を行っている「OKINAWA SDGs プロジェクト」、「おきなわ国際交流プラットフォーム」、「Be Kind OKINAWA (トラス株式会社)」の担当者によるプレゼンテーションが行われました。第2部では、プラットフォーム会員がそれぞれの取組事例についてプレゼンテーションで発表したほか、14の企業団体のポスターセッションやカードゲーム「2030 SDGs」の体験などが行われました。



法政大学 川久保教授



ポスターセッション



おきなわ国際交流プラットフォーム



Be Kind OKINAWA (トラス株式会社)



OKINAWA SDGs プロジェクト

では、そうした課題解決に取り組む皆さまの活動について情報発信を行うとともに、その活動を支援するためさまざまな取組を行っています。

令和5年度は、プラットフォームでの情報発信をさらに強化し、会員向けの講演会や交流イベントを充実させていく予定です。ぜひ、ポータルサイトまでアクセスしてください！

また、会員登録はポータルサイトの「新規会員登録」画面から行うことができます。登録費用は無料で、企業、団体に加入、県内在住の個人の方であれば、会員規約に同意いただいたうえで会員登録を行うことができます。

おきなわSDGsプラットフォーム
<https://www.okinawa-sdgs.jp/>



問い合わせ 企画調整課 電話：098-866-2026 FAX：098-866-2351



(上)プラットフォームの機能
(下)プラットフォームトップページ



どんな人が利用しているの？

ALS(筋萎縮性側索硬化症)の患者さんなど大人の利用も多いそう。県立特別支援学校の修学旅行もサポート。



多彩なサポートで安心な旅のお手伝い

- 同行介護・看護サービス**
安心した旅を過ごせるよう、ヘルパーや看護師が同行する。
- 入浴介助サービス**
入浴介助により、その間家族が自由な時間を作ることができる。
- 医療機器の貸し出し**
吸引器やパルスオキシメーターなど医療機器の貸し出しや衛生材料の提供を行う。

CASE 1
[福祉] 一般社団法人Kukuru
<https://kukuruokinawa.com/>

出発から帰宅まで、
沖縄旅行を全力サポート

医療的ケアが必要な子どもたちを支援する一般社団法人Kukuruでは、バリアフリー旅行のサポートも行っている。旅程のコーディネートのほか、家族にも沖縄を満喫する時間を過ごしてほしいと、マンツーマンでの見守りサービスも提供している。希望があれば、沖縄へ向かう機内から同行することもある。



(写真提供:一般社団法人Kukuru)

障がいがある人も家族も
みんなが幸せな旅を
悩みを解決!

進め!
うちなー調査隊
県内の気になるコト・モノを知れば
沖縄がもっと面白くなる!

「ユニバーサルツーリズム」を推進して
世界から選ばれる持続可能な観光地に!

2022年の1年間で、国内外から約569万人の観光客が訪れた沖縄。コロナ禍以前の姿を取り戻しつつある中、訪れるすべての人に「安心して楽しい旅を」と、さまざまな取組が始まっています。

誰もが楽しめる
新たな旅の過ごし方

「ユニバーサルツーリズム」という言葉を聞いたことはありませんか？年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく参加でき、安心して楽しめる旅行のことです。例えば、車いすを利用する方が容易に移動できるよう段差にスロープを設けたり、視障がいのある方のために点字や音声による案内板を設置したりしています。また、性別に関係なく利用できるジェンダーフリートイレもその一つです。

大切にしたい
ほんの少しの心配り

県は、2007年に国内で初めて「観光バリアフリー宣言」を出したりと、安全な旅のお手伝いをしています。また、観光客に人気のマリッジジャーでは、身体の不自由な方や車いすを利用する方にも、沖縄のきれいな海を楽しんでもらおうと、バリアフリーのダイビングツアーを行う会社もあります。海の中では重力から開放されるため体の重さを感じずに動くことができ、リハビリテーション効果が期待されています。バリアフリー化の流れは、県内のビーチでも、砂浜まで車いすに乗ったまま降りられるようスロープを設置するなど、マリッジジャーに輝く海を誰もが楽しめるよう、工夫を凝らしています。

取得するためには、施設のバリアフリー整備といったハード面だけでなく、筆談器具やコミュニケーションボードを用意したり、快適に車いすが通行できるように机や椅子の配置を見直すなど、ほんの少しの心配りでできるものもあります。一人一人のおもてなしが、ユニバーサルツーリズムの実現につながっているのです。

広がるユニバーサルツーリズム

CASE 3
[施設] オリオンECO美らSUNビーチ
<https://churasun-beach.com/>



ビーチで進むバリアフリー。マリンスポーツも!

那覇空港から車でわずか15分。アクセス抜群のオリオンECO美らSUNビーチでバリアフリー化が進んでいる。車いす専用トイレやシャワーを備え、スロープを使って車いすに乗ったまま駐車場から砂浜への移動が可能。車いすを無料で貸し出ししているほか、事前予約があれば担当スタッフが移動時のサポートもしてくれる。有料の「チェアポート」は障がいのある人も楽しめるマリンスポーツ。水陸両用の車いすで、座ったまま海水に浸かることができ、オールを使えば自由自在に動ける。

CASE 2
[レジャー] ホヌホヌダイバーズ
<https://www.hhdivers.com/>



一人一人に合わせたダイビングプランを提供

バリアフリーのダイビングツアーを行っている。事前に綿密な打ち合わせをした上でツアー内容を決めて機材を準備する。車いすのまま海に潜ることも。下半身不随の方でも上半身が動けば水かきグローブをつけて泳ぐことができ、両腕が動かなければ付きっきりでフルサポートする。「車いすだと海に入れないと思っている人もいるが、逆に海中は重力がないので自由になれる」と永坂哲朗代表。障がいのある人もない人も、全ての人に沖縄の海を体験してほしいという。

うちなー調査隊
まとめ

ユニバーサルツーリズムで
誰もが楽しめる沖縄旅行を実現!



- ✓ さまざまな観光施設で、多様な受入環境が整備されている。
- ✓ ハード整備だけでなく、県民一人一人の思いやりや心配りもユニバーサルツーリズムの推進につながっている。

6月は土砂災害防止月間です
土砂災害から身を守る3つのポイントを確認

6月は土砂災害防止月間です
土砂災害から身を守る3つのポイントを確認